

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月10日更新

事務事業名		防犯資機材支給事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	6	地域防犯対策の充実			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目4	事業連番10029	法令根拠合志市生活安全条例 合志市防犯資機材支給要綱	成果優先度評価結果	⑤
								コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・結成された地域の自主防災団体に防犯資機材を支給し、活動を支援するものである。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・地域への主旨説明及び結成促進、結成、 ・防犯資機材(申請受付、発注、支払い、支給)
【主な予算費目】	・需用費(消耗品費)
【意見や要望】	
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・防犯団体結成への支援を行った。 ・防犯資機材の支給を行った。		・防犯団体結成への支援。 ・防犯資機材の支給。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:防犯資機材支給申請件数	件	・資機材在庫に余裕があるため、消耗品費を減	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・自主防災組織		→ア:防犯資機材の支給を受けた団体数	団体
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・資機材を活用して防犯活動を行う		→ア:資機材を活用して効果的な防犯活動ができている団体の割合	%
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・資機材支給し、3年を経過している団体が多いことから防犯資機材支給申請件数及び団体数を25年度は10とした。			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	件	0	5	10	12	10	10	5	5
	イ									
②対象指標	ア	団体	0	5	5	9	10	10	5	5
	イ									
③成果指標	ア	%	91.7	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	336	365	110	109	16	100	100
	人件 費	(A)事業費計	千円	336	365	110	109	16	100	100
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	2	3	2	2	2
人件 費	延べ業務時間	時間	130	40	40	90	40	40	40	40
		(B)人件費計	千円	535	161	161	366	161	161	161
	トータルコスト(A)+(B)		千円	871	526	271	475	177	261	261

事務事業名	防犯資機材支給事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・20年度に要綱を改正し、再支給の規定を設けたので、周知を図り活用していただくことで、今後目標達成に努めるものである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・要綱を改正し、再支給の規定を設けたので、周知を図り活用していただくことで、今後、成果の向上が図れるものと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・自主防犯団体への支援は、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・防犯資機材の購入のみの費用であり削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・資機材の支給に要する事務費のみである。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・市内の自主的に活動しようという防犯組織が対象であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・地域が行う自主防犯活動を支援することは、行政の役割である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現在結成されている防犯団体については、資機材を活用し効果的な防犯活動を行っていただいている。本事業を利用しさらなる防犯団体の結成を促進したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 今後も資機材の支給を行ない、防犯団体の充実を図る。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 なし																							